

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターKusuの木（保育所等訪問支援）		
○保護者評価実施期間	令和6年9月10日		～ 令和6年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	令和6年9月10日		～ 令和6年10月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	令和6年9月10日		～ 令和6年10月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年11月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・複数の専門職種を配置し、連携した支援に取り組める体制がある（保育士、言語聴覚士、公認心理師など）。	・職種の専門性ゆえに支援の内容まで偏ることがないよう、訪問支援計画の策定や訪問前後の打ち合わせなどは協働で行い、定期的に多職種連携での支援を提供している。	・施設内外の研修や事例検討会、同行訪問などの機会を通じて、職種ごとの専門性だけでなく汎用性を持った職員の育成を図る。 ・可能な限り多職種または複数人での訪問を実施していくことで、多様な支援の構築を図る。
2	・利用者や訪問先施設から好評を得られる訪問支援を提供できている。	・保護者の意向や訪問先施設の実情等に配慮しつつ、利用児童が最大限の利益を得られるような訪問支援（支援方法の助言、活動設定の提案等）に努めている。	・上に同じ。 ・引き続き、子どもファーストの姿勢で支援に臨む。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族も参加できる研修会等の機会を設けられていない。	・ペアレントトレーニングを実施できるスキルを持った職員がいない。 ・訪問支援にペアレントトレーニング等は求めているというご意見もある。	・三木町事業所連絡会主催の研修会において、家族も対象とした講演会等を企画開催していくことも考えられる。
2			
3			